

# 作新学院高等学校 地球環境クラブ



チームテレサ



チームガリレオ



チームコロムス

高校生ボランティア・アワード  
2021

## 「私たちにできる地球への貢献」

学生にできる社会貢献を目指し、それぞれが3つのチームから1つを選んで所属活動しています。

### チームテレサ

◆ボランティア系のチーム  
一人でも多くの方に笑顔になってもらえるような活動を目指しています。

#### ◆主な活動

##### 被災地・復興地支援

宮城県の皆さん、広島県呉市の小中学校、愛媛県宇和島市のミカン農家の方々との交流を継続しています。また、災害発生時には、募金活動を行い、寄付を募った物資やメッセージとともに届けています。

##### エコキャップの回収

ペットボトルキャップを集め、リサイクルするとともに、ユニセフを通じ世界の子供たちにワクチンを届けています。

##### チームコロムス

#### ◆国際交流系のチーム

国際交流・支援を通して世界で活躍できる人になることを目指しています。

#### ◆主な活動

##### アフリカ1万足プロジェクト

履かなくなった運動靴の寄付を募り、アフリカの靴が手に入らない地域に届けています。

##### 思い出のランドセルプロジェクト

使い終わったランドセルをアフリカの子供たちに贈り、学校に行ける環境づくりを支援しています。

##### フェアトレード

毎年の学校祭ではフェアトレードの商品を販売するブースを設けています。

##### チームガリレオ

#### ◆技術開発系のチーム

授業で学んだ知識や技術を応用した社会貢献を目指しています。

#### ◆主な活動

##### 防災かまどベンチ

普段はベンチとして、災害時は電気を使わず調理をできるかまどとして活躍します。

##### 足尾・鉱山廃水クリーンプロジェクト

地元・栃木にある足尾銅山の排水処理技術の開発の研究を進めてきました。

##### エコ発電装置の開発

学院内の雨水を利用した発電装置開発の計画が進行中です。



エコキャップの回収



思い出の  
ランドセルプロジェクト



フェアトレード

## コロナ禍でも！ 作新の力！



～エコキャップ回収、思い出のランドセルプロジェクト、  
オンライン募金活動を例に～

生徒、卒業生、保護者、地域の皆さん、  
たくさんの協力のおかげでより良い活動ができています。

### エコキャップの回収

平成20年度から10年以上継続して行っている活動です。  
ペットボトルキャップを回収し、リサイクルするとともに、  
ユニセフを通じワクチンなどに替え、寄付する活動です。  
各校舎内、自動販売機の隣など学院内に多くの回収ボックスを設置し、  
協力を呼びかけています。

現在、**累計937万個**の回収を達成し、  
約1万人分以上のポリオワクチンを  
子供たちに寄付することができていました。  
また、7万kgの二酸化炭素の発生を抑制できています。

### 思い出のランドセルプロジェクト

私たちが使っていたランドセルを、紛争や貧困で学校に  
通えないアフガニスタンの子供たちに寄贈し、就学支援に  
役立てる活動です。  
募金をオンラインで募って海外送料費640,535円が集まり、  
**345個**のランドセルをアフガニスタンに届けることができました。

### 募金活動

毎年街頭募金活動を行ってききましたが、コロナ禍の中ではかなわず、  
上記のランドセルをアフガニスタンに送るための送料費や、  
令和二年の九州地方の豪雨災害被災地の皆さんを支援するため、  
webでの募金の呼びかけを行いました。  
卒業生など多くの方々にご協力いただきました。

**今後も皆さまの協力に感謝し、つながりを大切に  
活動していきます！**

## 災害

### 愛媛県のみかん農家のみなさんとの交流

～相手に寄り添った形の活動～

2018年に発生した西日本豪雨災害の後、少しでも力  
になりたいの思いから、募金や物資などをお届け  
したことをきっかけに、愛媛県宇和島市吉田町玉津  
のみかん農家の皆さんとの交流が続いています。

玉津のみかん農家の皆さんは、豪雨災害後、元の状  
態に戻す「復旧」をこえた、**今まで以上に発展させ**  
**る「復興」**を目指して努力されています。  
辛い経験を乗り越えて成長を続ける玉津の皆さんの  
姿に私たちも勇気づけられています。

災害発生後、状況の変化とともに必要とされる活動  
はどんどん変わっていきます。しかし、**風化させ**  
**たくない、現地の多くの方に笑顔になってもらいた**  
**い**という思いから、私たちは**相手の方々に寄り添**  
**った形の活動**を心がけ、**心を尽くした応援や交流を継続**  
**しています。**

### コロナ禍での災害支援

コロナ禍の中で起こった令和二年七月の九州豪雨災害  
を受け、コロナ禍のなかでも支援活動を行いました。

授業で作った手作りのマスクの寄付を呼びかけて回収  
。寄付を募った文房具や本などととも熊本県入吉市  
、球磨郡の避難所お届けしました。

直接普及作業を手伝うなどの活動はできない状況が続  
いていますが、私たちの力でできることを考えて活動  
していきたいです。

## 地域

### 足尾銅山についての取り組み

～地域の環境への貢献～

栃木県内にある足尾銅山は、明治時代に起きた公害以  
降、鉱山廃水や森林の減少が問題になってきました。

私たちは、地域の環境保護に貢献するため、チームガ  
リレオでは**足尾・鉱山廃水クリーンプロジェクト**を、  
またチームテレサでは足尾の山の植樹活動に取り組ん  
できました。

鉱山の排水処理について、現在用いられている手法で  
は重金属を分離するのみで鉱毒だけでなく有用金属も  
取り除き埋め立てられてしまっています。

そこで、鉱山廃水クリーンプロジェクトでは、埋め立  
ての量を減らし、有用金属を回収する技術を開発しま  
した。還元剤の利用、鉄イオンについての磁気分離と  
う授業を発展させた研究になっています。科学研究に  
本格的に取り組む経験にもなり、今後の活動、学習に  
も活かせるものとなりました。

また、チームの垣根を越え、チームテレサでも、足尾  
の山を緑にすることを旨とし、毎年植樹祭等に参加し  
植樹を行ってききました。今まで先輩方が植えた木は、  
現在森を形作る一部となっています。10年前、ほとん  
どが茶色だった足尾の山は、今は一面が緑になり、紅  
葉する葉も見られるようになりました。

今後も研究、植樹活動を通して、私たちが過ごす栃木  
県で起こった公害について理解を深めるとともに、  
**地域の環境保護に貢献していきたい**と思います。



鉱山廃水クリーンプロジェクト



足尾・植樹活動



足尾・植樹活動

## 10年

## 東日本大震災発生後10年の節目を迎えて

今年の3月11日、東日本大震災から10年を迎えました。

作新学院地球環境クラブでは、震災直後から支援活動や被災地の皆さんとの交流を継続しています。

復興が進む中でも、応援の気持ちを伝えることを続け、  
また、震災を風化させず未来に残す一助になれるよう活動していきたいです。

3月には応援メッセージの動画を製作。  
これまで交流してきた多くの皆さんに思いを伝えられました。

東北と心でつながる、ひまわりプロジェクトに毎年参加。  
ひまわりの種のリレーに加わり、学院内の様々な場所で花を咲かせるひまわりを通して  
東北の皆さんや復興を願う全国の皆さんとつながっています。

↓今年度も種を植えました。



## 作新学院 地球環境クラブ プロフィール

活動人数 439名

活動年数 11年



学院全体として取り組んでいる活動です。  
学部、部活動の垣根を越えて  
集まった活動部員を中心に  
“オール作新”で取り組んでいます。



応援メッセージ動画



ひまわりプロジェクト



- : チームテレサ
- : チームコロムス
- : チームガリレオ
- : 全体での活動